

### 代表質問

勝山市の未来を拓く会代表

### 乾議員

#### 「地方創生」の取り組みについて

**Q 質問**

地域づくりには、新しい感性、独自性を持ち、未来を切り拓いていく若い男女の年代層の参画がとても重要。彼らが、当市の未来像を描き、その実現のために生涯にわたって努力していく、そんな、きっかけとなる機会にしたいもの。如何か。

**A 答弁**

地方創生を実現するために、地方が自ら考え、責任をもって戦略を推進することが重要である。今回の総合戦略の策定をきっかけとして、若者や女性を含む市民の皆さんが、魅力あるふるさと勝山のまちづくりに積極的に参画いただけるよう働きかけていく。

#### 北陸新幹線開業による観光客誘致について

**Q 質問**

①金沢開業により恐竜博物館にお見えになる観光客の交通手段も多面化する。どのような想定し、受け入れ態勢の準備を進めているのか。

②観光産業の振興は当市に高い経済効果をもたらす、それが人口減少対策や雇用の確保等に繋がるものでなければならぬ。経済が潤う仕組みをどのように進めているのか。

組みをどのように進めているのか。

**A 答弁**

①現在、観光に関連する団体が参画し「観光の産業化」アクションプラン協議会が設立されている。協議会では、観光の産業化に向けた方向性と相互の連携について協議しており、今後、協議会での検討内容をフィードバックし、宿泊や食事など観光客受け入れ体制の強化を図っていく。

②観光振興ビジョンに基づき勝山市の観光を担っていく組織・機構づくりに向けて、市、商工会議所、観光協会、事業者などが一体となり観光の産業化を進める必要があると考えている。

#### 看板落下防止について

**Q 質問**

先般、札幌市で強風による看板の落下事故があった。原因は鉄の劣化によるもの。国は看板の調査を早急に指示したが対象は繁華街に面し築10年以上で3階建て以上のビル。当市には対象外の小規模な看板が多い。雪国で雨の多い当市では鉄の劣化が早い。これら看板も総点検し危険防止に努めるべき。

**A 答弁**

今回の事故を契機に、看板の維持管理の徹底を図るよう管理者に対し、実効性のある点検をするよう指導し、広報、啓発に努め危害の防止に努めていく。

かつやま龍馬の会代表

### 松本議員

#### 若者のUターン促進策について

**Q 質問**

勝山には働く場所がないから帰って来られないという話をよく聞く。

しかし市内には頑張っている事業所もたくさんある。だが市内の事業者は大企業のように全国的な求人をしていない時間と資金力が不足している。市は事業者と協力して若者のUターン就職を促すべきと考える。また市のホームページ「ふるさと移住情報」は機能していない。早急に改善していただきたい。

**A 答弁**

勝山市ホームページには「勝山で働きたいあなたへ」のバナーを設け、福井県が運営する就職情報サイトやハローワーク大野の求人情報、ガンバル企業のものづくり誌に掲載の企業情報を提供している。また勝山高校等の卒業生の希望者に対し、毎月の求人情報の一部を掲載した広報かつやまをはじめ、各種助成制度のチラシ等を送付し、勝山の多種多様な情報を提供している。今後もこうした取り組みを継続し、勝山市出身者に情報を提供することで、市内企業の支援に繋がってまいりたい。

「ふるさと移住情報」のホームページに关しましては、平成27年度中に全面的にリニューアルを行い、勝山

その他質問  
原発が再稼働された場合の勝山市民の安全対策について  
恐竜の駅構想の実現に向けて  
夏のイベントによる観光誘客について

の暮らしの魅力がホームページをご覧いただくだけでも十分に実感できるようなものになりたいと考えている。

#### 獣害防除と屠体の処理について

**Q 質問**

イノシシの方も賢くなり、最近では電気柵もネットも破れることが多くなり、最後の手段として金網柵を設置せざるをえなくなってきた。高価ではあるが金網柵への補助を願いたい。また捕殺については、後始末が大変と聞く。捕獲数を増やすために、屠体の処理について援助すべきと考える。市の見解を伺う。

**A 答弁**

農地への金網柵の設置補助は国庫補助事業で行っており、金網柵の効果を十分に発揮するためには計画的に対象区域をまとめて整備する必要があることから、各地区と事前に十分に協議しながら要望された事業量を着実に実施できるように努めていく。

平成26年度までは捕獲した有害害獣をその地区で埋設していただいていたが、埋設場所等の問題から、市内に配置した冷凍庫に捕獲した有害害獣を一時的に集積し、業者が一括して引き取って焼却するよう考えており、平成27年度において試験的に実施したいと考えている。